



令和3年度 隣保館人権連続講座 終了いたしました!

今年も無事隣保館人権連続講座の全講座を終了することができました。ご参加、安全対策にご協力いただきありがとうございました。また来年度も、様々な人権についての講座を開催する予定です。

その様子と感想の一部を紹介します。



第1回講座：わかってきた新型コロナウイルス感染症

武末文男さん



- ・感染防止に必要なことがよく分かった。正しい知識を得ることで、恐怖から警戒に変えることができることも分かった。
- ・学ぶ、知るということがやはり大切なことだということを改めて感じました。
- ・嘘やデマに騙されず、なにをしたらよいか正しいやり方はなにか、不安な面を解消してくれました。恐怖におびえるのではなく、正しい知識で行っていくことが、コロナ差別の解消につながると感じました。

第2回講座：セクシュアリティについて考える

大住珊士さん

- ・自分が思っている以上に日本が他国と比べセクシュアリティの理解が十分でないことを知ってショックでした。
- ・制度面も社会に生きている人々の認識面も世界からずいぶん遅れているなど思いました。なぜ、政治は現実を直視して変えようとししないのか、誰の利権で動かないのか腹立たしい限りです。まだ苦しい声をたくさん上げないといけないのかという感じを受けました。質問コーナーで中学生が苦しんでいる話を聞いて、ますます社会改革が必要だと思います。性の違いではなく、人が大切にされる世の中、制度になるように願っています。



第3回講座：地区学習会を通して子どもとのつながり

山末由紀さん



- ・実体験をもとに様々な思いが伝わってきました。「差別の現実学ぶ」ことができ、自分自身の心と向き合う時間になりました。子どもさんたちの成長を温かく時には厳しく支えそして、いろいろな困難の中もがきながら前向きに生きている姿は、きっと子どもさんたち家族の誇りだと思います。つれあいさんの「家に子どもの友だちが遊びに来てくれたことにとっても喜んでいる」ということに心を打たれました。考えさせられました。人とのつながり（旗「つなげる」のように）を大切にこれからも勉強していきたいです。
- ・家族のきずな、学校とのきずな、周りの方たちとのきずなの大切さ、声を上げることの大切さ、とても良い講演でした。前向きな姿は学ぶものが大でした。

人権 4コマまんが

★9月隣保館行事予定★

- 6日(月) 10:00~12:00
エコクラフト教室
- 7日(火) 13:30~16:00
特設人権相談
- 12日(日) 10:00~12:00
休日サロン
ハローワークの求人情報等の閲覧
悩み事相談も行っています。
お気軽にお越しください。
- 13日(月) 10:00~12:00
エコクラフト教室
- 14日(火) 10:00~12:00
書道教室
- 26日(日) 10:00~
ヒューライツ・シネマ
『老いを生きる』
- 28日(火) 10:00~12:00
書道教室

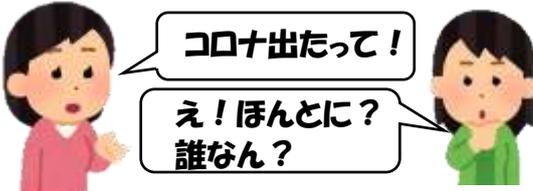
人権ペープサート・人権4コマまんがを市のホームページに掲載しています
※4コマまんがは毎月更新しています！

(敬老の日と老人週間)

(一人で悩まないで)



STOP コロナ差別!!



感染者の特定は差別や偏見につな
がる恐れがあります。
気をつけていても誰でも感染する
可能性があります。
差別や偏見はやめよう!!

今月のヒューライツ・シネマ

『老いを生きる』

認知症の三浦富江は徘徊癖があり、家族を困らせていた。「手足を縛ることは虐待である」という指摘を受けた貴子は夫の洋一と「認知症のための家族の会」に出かけ、高齢者と共に生きる家族の姿を知っていきます。

誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対する優しさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品です。

